

漁船運用 (3 単位)

必修

2 年海洋科・航海コース

授業の概要	(内容) 船舶の種類や用途を学習します。特に、船体の構造や設備の取扱い方を知り、それらの保守・整備の方法や操船を学びます。		到達目標	船舶の構造や設備を理解し、その保守・管理・整備を適切に行い、船舶を安全に運航できる知識と技術を身に付けます。基本的には乗船実習に必要な船舶に関する事項を確実に身に付けることを目標にします。	
	(形態) 講義・実習				
年間の授業計画		項 目	内 容		
	一学期	4	漁船の定義と従業制限	船の種類を分類し、その特徴を理解していきます。さらに船舶の主要部の名称、構造、トン数など主要寸法の基礎的な事項を学習します。	
		5	漁船の種類		
		6	船体の主要部の名称と構造		
		7	主要寸法とトン数		
	二学期	9	操舵・機関・通信設備	船舶の設備・属具を理解し、各設備の日常的な保守等に関する事項やドックの種類、入出きょ準備、ドック中の作業・検査等について学習します。	
		10	甲板・安全・漁業・保蔵設備		
		11	船用品 (ロープ類、テークル)		
		12	船体の整備、ドックと検査		
	三学期	1	通信	船で用いられている国際信号方式を学習し、天気の変化について、基本的な内容を学習します。	
		2	海上気象 気象 海象の観測		
		3			
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ノートなど授業に必要な学習用品を忘れずに準備しよう。 ・先生が授業中に説明するポイントをしっかりノートに記入しよう。 ・宿題が出された時は、提出期限までに確実に仕上げ提出しよう。 ・教科書の絵図をノートに写し各部名称を記入する作業等で名称を覚えましょう。 ・授業では基礎的な事項を覚えることが重要です。繰り返し学習し、大切な事項を覚える努力をしましょう。 ・実習で具体的に体験し、教室で学習したことを再確認したり技術として身に付けるようにしましょう。 				
評価方法	ペーパーテスト 70 %		平常点 30 %		
	<p>中間・期末各考査の成績を総合した得点で評価します。</p> <p>船体各部の名称や部材名・設備を覚える。塗装用具や塗装方法、船体の保守、ドックでの注意、検査準備など整理できているかなど点検します。</p>		<p>教材の準備や宿題・ノートの提出状況、授業態度を総合的に評価します。</p> <p>学習用具が準備され、授業に興味を持って積極的に参加しているか。またノートを整理して記入し、宿題を期日までに仕上げ提出しているかなど点検します。</p>		
教材	教科書 『漁船運用』(文部科学省)		アドバイザー	漁船運用は船舶がどのような構造をしているかを知ることから始まります。実習船や地域の船舶にはどんな設備があるか興味を持ってよく調べてみよう。また、保守や整備の方法にも興味を持って授業に臨もう。	